

5・4 輸出入・港湾諸手続の簡素化

5・4・1 貿易関連手続の一層の円滑化

わが国の出入港制度については平成 17(2005)年 9 月の国際海上交通簡易化条約(FAL 条約)の批准により申請項目の減少がされるとともに、平成 20(2008)年 10 月には税関手続きのほか関係省庁システムの一体運営を図った新たなシングルウィンドウ(府省共通ポータル)が稼動するなど制度の簡素化、利便性向上に向けた取り組みが進められてきた。

関係省庁のシステムについては、国土交通省の港湾手続のシステムおよび法務省の入国管理手続のシステムに続き平成 22(2010)年 2 月に経済産業省の貿易管理のシステムをそれぞれ輸出入・港湾関連情報処理センター(NACCS)に統合しており、今後、農林水産省の動・植物検疫手続のシステムや、厚生労働省の食品衛生手続のシステムを NACCS に統合することとなっている。

当協会は、平成 29(2017)年 10 月に貿易諸手続きに係る所管省庁の横断的なシングルウィンドウとなる通関情報システム(第 6 次 NACCS 更改)の具体的な運用に関し、官民の関係諸会議に参画し、船社にとり利便性の高いシステムとなるよう鋭意意見反映に努めた。

※NACCS(Nippon Automated Cargo and Port Consolidated System)

入出港する船舶・航空機及び輸出入される貨物について、税関その他の関係行政機関に対する手続及び関連する民間業務をオンラインで処理するシステム。